

第4回森と水の源流館 授業づくりセミナー概要報告

奈良教育大学 中澤静男

開催日時 2018年9月2日(日) 13時～16時
会場 川上村森と水の源流館
参加者 阪本・川西・五十川(三石小)、島(郡山西小)、川崎(川上小)
尾上・上西・古山(源流館)、雲雀(奈良教育大学生)
北村・中澤(奈良教育大学)

1. ESDで育てたい見方・考え方(ESDの視点)

自然環境・社会環境	「多様性」	「相互性」	「有限性・循環性」
人・集団の意思や行動	「公平性」	「連携性」	「責任性」

多様性：色々ある方がいい

相互性：つながっている、つながりを尊重する

有限性・循環性：有限なものである。それが循環していればいい。

公平性：世代内と世代間の公平を考えていることが重要。

連携性：排他的でなく、異文化を背景とする人々などとも妥協点を見出し、協働する。

責任性：最後までする。リーダーシップを発揮する。協力する。

2. ESDで育てたい資質・能力

※資質・能力の育成は指導方法に依存する。

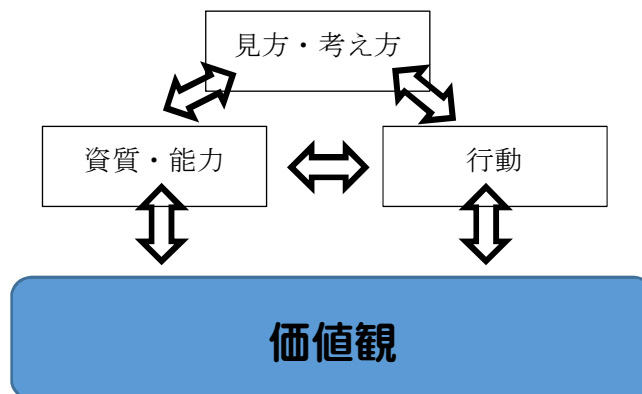
- ①クリティカルシンキング(批判的思考力・代替案の思考力)
- ②システムズシンキング(総合的・多面的思考力)
- ③長期的思考力
- ④コミュニケーション力
- ⑤協働的問題解決力



3. ESDで育てたい価値観

※価値観とは、見方・考え方、資質・能力、行動の基盤となるものです。

- ①世代内・世代間の公正を重視する
- ②生態系の保護を重視する
- ③互いの人権・文化を尊重する
- ④経済よりも幸福感を重視する



見方・考え方、資質・能力、行動は、互いに影響しながら、強化されていきます。その繰り返しによって、基盤となる価値観も形成されていきます。

【参考資料】持続可能な開発目標（SDGs）

目標 1（貧困）

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。

目標 2（飢餓）

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。

目標 3（保健）

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

目標 4（教育）

すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

目標 5（ジェンダー）

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。

目標 6（水・衛生）

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

目標 7（エネルギー）

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。

目標 8（経済成長と雇用）

包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。

目標 9（インフラ、産業化、イノベーション）

強靱（レジリエント）なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。

目標 10（不平等）

各国内及び各国間の不平等を是正する。

目標 11（持続可能な都市）

包括的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

目標 12（持続可能な生産と消費）

持続可能な生産消費形態を確保する。

目標 13（気候変動）

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。

目標 14（海洋資源）

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。

目標 15（陸上資源）

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。

目標 16（平和）

持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包括的な制度を構築する。

目標 17（実施手段）

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。